

乳腺センター

乳腺センターの特徴

乳腺外科には医師が3名います。その中には指導医、専門医を取得している医師も在籍し、乳腺について、より専門的な知識をもっています。看護師は専門的な知識や技術をもつ認定看護師が1名おり、患者さんのサポートをしています。その他の看護師は、注射処置室と化学療法室を兼任していることで、薬剤の知識が豊富で安心して治療が受けられます。看護補助や医師事務補助は、待合の患者さんとのコミュニケーションをはかり、不安をキャッチすると医師や看護師へ繋げるといった連携がされており、乳腺センターチーム一丸となって患者さんが安心して検査や治療など受けられるよう努めています。

乳腺センターでは乳腺に異常(乳がんや良性の変化)がないか調べるため、放射線技師によるマンモグラフィ(乳房を挟んで撮影するレントゲン) 2Dだけではなく、より画像が鮮明な3D撮影もおこなえます。検査技師による乳房超音波検査をおこないます。異常があった場合は、医師が細胞診検査(採血する針程の細い針での検査)や病理検査(少し太めの針での検査)をおこない、診断までの検査を全て乳腺センター内で完結することが出来ます。良性腫瘍の摘出術や、乳がんと診断された方の手術や薬剤を使用した治療、その後の経過観察、遺伝子検査も検査対象の方に説明し希望があればおこなっています。また、乳がん認定看護師による看護外来もおこなっており、不安を抱えた患者さんに、よりそった看護の提供をしています。



乳腺 抗がん剤治療 化学療法の特徴

手術前後に投薬する抗がん剤治療(化学療法)は、体内のあちこちへ運ばれて微小転移となっている可能性のあるがん細胞(目には見えないがん細胞)を、抗がん剤で攻撃する治療法で、がん細胞の根絶を目的としておこないます。抗がん剤は、がん細胞に作用して増殖を抑え、死滅させます。しかし正常な細胞にも影響を与えるため、全身に、さまざまな副作用が現れる傾向があります。副作用の1つに脱毛があります。抗がん剤のほとんどが、脱毛リスクの高い薬剤です。抗がん剤投与の2週間後から脱毛が始まり、ほとんどの髪が抜けてしまいます。外見の変化を伴う脱毛は、患者さんにとって、つらい症状のひとつとして挙げられます。



頭部冷却装置

パックスマン

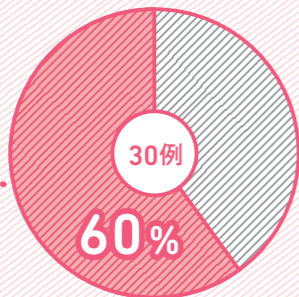
PAXMANの導入

頭部冷却装置で
脱毛予防!

国内における 頭部冷却装置の臨床試験結果

乳がん患者に対する脱毛抑制効果

頭部冷却を行なった30例中
18例(60%)は**非脱毛***



* グレード0 または グレード1

グレード0



グレード1



グレード2



手術だけでも身体的、精神的にも負担となるなか、脱毛が辛く抗がん剤を受けたくないと思う方もいますが、目には見えないがん細胞を根絶するには、抗がん剤治療が有効で、大切な治療です。脱毛という不安や精神的な負担を少しでも軽減できればと考へ、海外で開発され効果が期待できる頭部冷却装置を、当院では2016年より導入しています。国内においては、2019年4月に乳がんを含む固形がん患者に対して、抗がん剤治療に伴う脱毛を抑える目的の医療機器として頭部冷却装置PAXMANが承認されました。

乳がんの抗がん剤を受ける際の選択肢の1つに

対象

乳がんの手術前・手術後の抗がん剤治療を受ける患者さま
※院外からのご紹介も承ります!!

費用

- 抗がん剤治療入院費用
- 頭部冷却利用料 1回あたり **16,500円**(税込)
- 2回目に専用冷却キャップ購入 1人1個 **99,000円**(税込)
※1回目は当院のキャップのためキャップ代はかかりません。

申込方法

[乳腺外科外来]までお問い合わせください。

☎ **052-991-3111** 代表

「乳腺センター」とお伝えください。

当院の乳腺外科医と十分な相談の上、患者さんの大切な選択肢の1つとなれば幸いです。なにか分からないこと、聞いてみたいことなどございましたら、お気軽に乳腺センターへご相談ください。

乳がん体験者の

“症状・副作用・後遺症” 細分類別 上位10位

- 薬物療法に関連した症状など
- 手術に関連した症状や後遺症など
- 治療後の生活行動

2003年	
1位	抗がん剤による脱毛
2位	抗がん剤による副作用症状(その他)
3位	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など
4位	リンパ浮腫によるむくみ
5位	持続する術後後遺症(その他)
6位	抗がん剤による吐き気
7位	治療後の体力低下・体力回復
8位	ホルモン療法や手術による更年期症状
9位	(持続する症状)痛み
10位	罹患前の状態に戻るか

2013年	
1位	抗がん剤による脱毛
2位	抗がん剤による副作用症状(その他)
3位	抗がん剤による抹消神経障害(しびれ、違和感等)
4位	抗がん剤による副作用の持続(その他)
5位	持続する傷痕とその周辺の痛み、しびれ、つっぱり感など
6位	リンパ浮腫による症状(その他)
7位	抗がん剤の副作用症状の長期化
7位	抗がん剤の副作用による日常生活への影響
7位	ホルモン療法等による副作用(その他)
10位	抗がん剤による外見の変化(爪が黒くなる、皮膚症状など)

※2013年 がん向き合った4,054人の声(静岡県立静岡がんセンターによるがん体験者の悩みや負担に関する実態調査の報告書より引用)